

相川 あいかわらばん 瓦版

第3号

2013年9月25日発行
 発行：佐渡市世界遺産推進課
 電話 0259-63-5136
 FAX 0259-63-6130
 編集：佐渡市世界遺産推進課
 新潟県教育庁文化行政課
 世界遺産登録推進室
 奈良文化財研究所景観研究室

上町・下町まちあるき開催!

金山街道 秋まつりへ9月14〜15日



上町



下町

9月15日に、「金山街道秋まつり」の一環として、上町・下町のまちあるきを行いました。佐渡市世界遺産推進課の山口学芸員の先導のもと、午前中には上町を、午後には下町を参加者の皆さんと一緒に歩きました。参加者の皆さんは島内にお住まいの方でしたが、相川のまちなかを歩くのは初めての方がほとんどでした。相川の町並みの特徴や、鉾山にまつわる様々なエピソードを紹介しながら、まちなかを歩いてまわりました。

ちなみに今回登場した相川まちあるきの秘密兵器が「あいかわ発見まつぷ」です。表には相川全体の地図とちよつとした解説が、裏側には上町・下町の地図が載っています。自由に使ってください。

11月頃には相川の皆さんとまちを歩きながら、日常風景に隠れている相川の歴史探しをする会を予定しています。詳細が決まりましたら、改めてご案内いたしますので、ふってご参加ください。



あいかわ発見まつぷ

ように余白もたくさん。というわけで、今後もイベントの際などに配布しますので、ぜひぜひご入手ください。



た。く歩いたので懐かしい」と、かつての相川の町並みに想いを馳せる方もいらっしゃいました。参加してくださった皆さん、ありがとうございます。

案内をした山口由加利・学芸員(佐渡市世界遺産推進課)の話 今回のまちあるきでは、参加者のすべての方が、上町コース・下町コースの両方に参加してくださいました。当日はあいにくの雨でしたが、皆さん真剣な眼差しで相川の町並みを見つめていました。「まるでジブリ映画の世界に入り込んだような町並み」という驚きの声をあげる方がいらつしゃれば、「学生時代にこの通りをよく

第2回

世界遺産座談会

開催しました!



トッキッキ

どーも。ブリカツくん & トッキッキです!

ブリカツくん



8月6日・7日に世界遺産座談会を開催したよ。6日は下町(第一分団・第三分団)第五分団、7日は上町(第二分団)が対象だったんだ。

今回の座談会は、5月下旬から6月上旬の「世界遺産と相川の景観に関するアンケート」(「あいかわらばん」第2号参照)でご回答いただいた世界遺産の取組に関するご意見やご質問について、県・市の担当者が回答したよ。そのなかには、文化的景観という制度・取組の可能性や相川の建物の価値、残し方などについての話があったよ。

具体的には次のような内容だったんだ。

まずはじめに、世界遺産とは何かについて説明があったんだ。世界遺産の目的には、①世界中に文化や自然が多様に存在していることをみんなが知って、争いなどをしないようにすること、②価値がある遺産をもつていながら、守りきれない発展途上国を応援することなどがあるんだって。世界遺産というのは、単に観

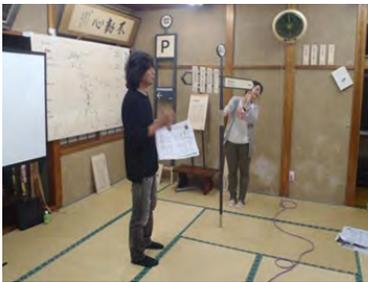
光客にたくさん来てもらうための手段ではないんだね。佐渡でも、世界遺産登録を通じて世界にどんなメッセージを発信できるのかが重要になるんだね。

□文化的景観って何? 文化的景観でできることは?

アンケートでも、町の将来像を描くことが必要だというご意見や地域の歴史・文化を伝えるための具体的な取組(古写真を展示するといったのでは? など)の提案などが多く寄せられたんだ。

そこで、町を元気にする仕組みのひとつとして、「重要文化的景観」という文化財の制度が紹介されたんだ。

新潟県では、佐渡市西三川地区だけが唯一選定されているんだって。例えば、地区内の笹川集落では、住民のみなさんで議論をしながら、景観に合った説明看板のデザインを考えたりしているとのこと。地域の歴史を伝えるための看板なの



住民の方と一緒に「笹川流」を作っている



廃校を活用した収穫祭の住民作品展示



どきどきも素敵だね!!



能舞台を活用したタベコンサート

で、その設置費用などは行政でも補助ができるんだって。

それ以外にも、住民の生活の利便性と景観保護の両立を目指した景観配慮型の県道拡幅工事でも実施されたんだ。また、現地見学のルールづくりや説明板・案内マップづくりなどを、住民の方と一緒に進めているとのことだよ。これを「笹川流」と名づけているんだって。なんだか

かっこいいね! 運動会や収穫祭といった廃校活用や能舞台でのコンサートも行われているよ。「住民が楽しんでやること」が大事なんだね。

相川では何ができるかな? 市でも、今、相川の文化的景観の「保存計画」を作っていて、この前のアンケート結果も活かしていきたいとのことだよ。

□相川の建物の価値って？
相川の建物を守ることでって？

アンケートでは、上町の町並み保存の範囲を広げてほしいなどの意見も寄せられたよ。

そこで、調査で分かった相川の建物の価値について、日本の他の地区の事例なども交えながら、「再発見！相川の建物」と題してのお話があったよ。相川らしい建物として考える場合には、「他とはここが違う」、「こんなところが面白い」ということが大事なんだって。

鉾山町相川ならではの建物の特徴は色々あるけれど、今回は、建物の調査で新しく分かった相川らしさを紹介したよ。

例えば、〈屋根〉は焼瓦とセメント瓦が混ざっている



焼瓦=左=とセメント瓦=右=



大正期の石置き屋根



短い庇



小ぶりなまど



縦板張り(左家)と下見板張り(右家)の壁が混在

こと、昔はほとんどのお宅が石置き屋根だったことなどが特徴みたい。〈板壁〉も、縦板張りや下見板張りの壁が混ざっているうえに、板が薄いことも大切な特徴なんだ。〈まど〉もこぶりなことに特徴があるとか。それに、もうひとつ！〈ひさし(庇)〉も重要みたい。マツゲみたいに短い庇は相川らしさなんだって。これを読んでくれている読者の方のお宅もそうなのかな？

これをまとめると、「シンプルで軽やか」「ひかえめな外観」「こまやかな美しさ」が特徴を示すキーワードとしてあげられるみたい。こうした地域の特徴のうち、具体

市では、「寄せられた個々のご意見を保護の基準に活かせるように努力していきたい」とのことだよ。



こまやかな美しさ



ひかえめな外観

的に何をどのよに残していくのかは市でも今考えていて、次回以降の座談会では住民の方と話し合いをしていきたいとのことだよ。



参加者の方からは、庇が短いのは道が狭くて、相川祭りなどの山車が通れなかつたからだとか、相川の特徴は坂道や石垣、小路、地名などもあるからこういうのも残していきたいという意見もたくさん出されたよ。



世界遺産座談会予告

第3回：相川の景観を守るルールづくり

相川の景観を守るためのルールの案をご説明します。それに対して、ご意見をいただくかたちで進めていきたいと思ひます。

(10月下旬～11月上旬開催予定)

◇上町(第2分団)

相川ふれあい集会所

◇下町(第1分団・第3～第5分団)

あいかわ総合開発センター 和室



相川人カード(みほん)

「相川人カード」と題されたカードに、20年後の相川への希望や夢をひとこと書いてもらおうという取組です。今後1年間続けて、寄せられた一言一言を文化的景観の保存計画に掲載することで、20年後の相川人に託していきたいと願っています。世界遺産座談会や金山街道秋まつりのまちあるきでも書いていただきました。今後も、随所で配布いたしますので、ぜひ未来への思いや相川で大切に思っていることをご記入ください！

◇「20年後の相川人へ」プロジェクト
始めました。

第4号の予告 10月25日刊行予定

- 佐渡相川の鉱山都市景観保存計画の概要について
- 相川中学校・町並み発見ワークショップ

ほか

取組を英語で支えます！

おおの しょうえい
大野 荘衛
(新潟県世界遺産登録推進室)



初めまして。村上市(旧岩船郡荒川町)出身です。佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた仕事に、県民の一人として関わることができることをうれしく思ひます。

現在、世界遺産登録の推薦書作成のため、これまでユネスコに提出された国内外の推薦書の翻訳や、学術委員会に出席する海外専門家の通訳、連絡調整などを主に担当しています。県庁勤務が多く、相川に伺う機会は多くありませんが、大工町から京町にかけて歩いた時に観た風情ある町並みを今でも良く覚えています。歴史ある皆さんのまちが世界遺産に登録され、これからの世代に大切な宝ものとして引き継がれるよう、少しでもお役に立つことができたらと思ひながら、これからも仕事に励みたいと思ひます。

往復書簡

その3

上記のコーナーでは、行政担当者の相川への思いのほか、住民の皆さんからの声(200～300字)もお待ちしております。FAX、電話、メール、郵便にて下記宛先「あいかわらばん編集部 みんなの声係」までどしどしお寄せください。氏名をお忘れなく！

世界遺産・文化的景観に関するご意見はお気軽にこちらまで

佐渡市役所 世界遺産推進課

電話：0259-63-5136

FAX：0259-63-6130

メール：<http://www.e-sadonet.tv/~citysadofm/9isan.html> からお問い合わせフォームにて
ウェブサイト：<http://www.city.sado.niigata.jp/mine/>

編集後記

▼うだるような夏の暑さが過ぎ、すっかり季節は秋の気配です。食欲の秋、読書の秋・・・何はともあれ秋は実りの季節です。

▼相川鹿伏の田んぼも緑の世界から黄金色の世界に姿を変え、多くのお米を実らせてくれました。今年も収穫の季節です。

▼相川の景観保護のための取組、世界遺産登録のための取組も、次のステップに入ります。一面に特集したまちあるきのほかにも、相川中学校での相川の面白い景観発見ワークショップなども予定しています。

▼あわせて、世界遺産座談会では、規制内容の話なども始めます。相川を素敵な地域にしていくために、この秋はこの取組にも多くの実りがもたらされることを願っています。